

ノリ養殖情報 (第 17 報)

令和 6年 2月16日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

今回の調査は17回目です。

今年度は、10月中旬から3月下旬までに月に3~4回、合計23回の陸上調査を予定しています。

1. 調査結果

調査日: 2月13日(火) 天候:くもり 気温: 4.8 (5:24 時点)

(今回(2/13)の水温等の測定時間帯 5:30~7:28) 前回と調査時間帯が異なります。

(前回(2/4)の水温等の測定時間帯 20:03~22:04)

調査点		水温		比重 15	栄養塩:無機態窒素 μg-at/L		クロロ フィルa値	病害 検鏡結果	
		今回	前回 2月4日	今回	今回	前回 2月4日	今回	アカ	ツボ
1. 長崎鼻	支柱	9.0	10.0	21.4	1.3	/	7.0	/	/
2. 神代	支柱	9.3	10.1	21.4	3.2	16.2	4.2	++	なし
3. 大野浜	支柱	9.3	10.3	21.7	1.6	7.3	3.4	なし	+
4. 半田	支柱	9.5	10.6	22.1	10.6	12.3	8.6	++	++
5. 三会	支柱	9.9	10.6	22.5	5.3	8.6	5.9	なし	なし

長崎鼻の栄養塩、クロロフィルa値の調査は、隔週で実施します。

栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

アカ、ツボ: なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

主な植物プランクトン (単位:細胞/mL)

植物プランクトン (優占種)	小型珪藻			大型珪藻	
	スケレトネマ属	キートセロス属	レプトシリンドラス属	ユーカンビア属	コシノデイスカス属
2. 神代	58	102	27	80	0
3. 大野浜	37	9	30	21	2
4. 半田	4	5	0	2	29

調査結果概要

- ・水温は、9.0 ~ 9.9 。 海水比重(15)は、21.4 ~ 22.5。
- ・漁場に設置している温度計の2月4日から2月13日迄の測定結果は、平均温度は9.2 ~ 9.7 で、昨年より0.3 ~ 0.5 高く推移しました。
- ・栄養塩は、1.3 ~ 10.6 $\mu\text{g-at/L}$ で、5観測点中1点でノリ養殖における期待値7.0 $\mu\text{g-at/L}$ を上回りました。
- ・あかぐされ病は神代・半田で目視レベルが確認されました。
- ・壺状菌病は半田で目視レベル、大野浜で顕微鏡レベルが確認されました。
- ・植物プランクトンは、珪藻類(キートセロス属、スケルトネマ属)が優占していました。

2. 赤潮発生状況

福岡県: 有明海福岡県海域で珪藻のユーカンピア ゾディアクスの細胞数の増加を確認しました(2月13日)。

佐賀県: 筑後川河口域から鹿島市地先にかけて大型珪藻(ユーカンピア)による赤潮が確認されました(2月9日)。

3. 他県の情報

福岡県: 色落ちが拡大・進行しています。アカは2調査点で確認され、いずれも軽度でした。色落ちは18調査点で確認され、軽度が3点、中度が3点、重度が12点でした(2月13日)。

佐賀県: 摘採や活性処理等が行われています。針状細菌は24点中1点、糸状細菌が2点確認されました。アカは、24点中15点(肉眼視レベル7点、顕微鏡レベル8点)確認されました。ツボは、24点中3点(肉眼視レベル2点、顕微鏡レベル1点)確認されました。筑後川河口域(沖合漁場)から太良町地先まで色調の低下が確認されました(2月13日)。

熊本県: アカを20地点(24地点中)で確認しました。色落ちした漁場が見られました。摘採サイズに達した網が多く見られました(2月8日)。

4. 本県の情報

浮き流し漁場と支柱漁場で摘採が行われています。

支柱漁場の一部で色落ちが確認されました。

ノリ網の検鏡結果

- ・あかぐされ病が2漁場で確認されました。
- ・壺状菌病が2漁場で確認されました。
- ・付着珪藻はリクモフォラ、タビュラリアが多く確認されました。
- ・葉長は64.0 ~ 210.7mmの範囲で、平均は80.5 ~ 145.4mmでした。